

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	14	学校名	畝傍高等学校
----	----	-----	--------

1. 取組名 吹奏楽部「秋色コンサート2017」「クリスマスコンサート2017」

2. 活動内容

高校生の社会参加活動として、本校では通学路の清掃活動や地域でのボランティア活動等様々な活動を実施している。その一環として、吹奏楽部では、近隣の方々をはじめ本校がお世話になっているみなさまに、昼下がりのひとときを音楽で楽しんでいただき、日頃の感謝の気持ちを伝えたいと考え、「秋色コンサート2017」「クリスマスコンサート2017」を企画し実施した。

本演奏会を、音楽に親しみ楽器演奏の向上を目標に日々練習に励む吹奏楽部員にとっての練習成果の自主発表の場とするとともに、開催準備の経験を通して、自主性と創意工夫する精神を育成し、地域の方々との交流をさらに深める場としている。

「秋色コンサート2017」平成29年11月19日（日）14時より

- ・第1部 吹奏楽フルバンド演奏
- ・第2部 地域の方々も参加できるような企画を含めた吹奏楽フルバンド演奏

「クリスマスコンサート2017」平成29年12月23日（土）14時より

「秋色コンサート」とはプログラム内容や趣向の異なる内容として開催した。

- ・第1部 各楽器による少人数のアンサンブル演奏
- ・第2部 地域の方々も参加できるような企画を含めた吹奏楽フルバンド演奏

○コンサートの広報活動としては、部員が各ご家庭を訪問して、直接地域の方々とのコミュニケーションを深める方法をとった。



3. 成果と課題

この取組は、3つの目的を意識して実施しているが、第1が地域の方々との交流である。事前の広報活動の中で、様々なコミュニケーションがとれており、当日のコンサートへ参加の様子や事後のアンケートからも子どもからご年配まで十分に音楽を楽しんでいただけたと考えられる。

第2に、コンサートの準備をとおして部員が主体的に創造的に取り組むことであるが、部員たちは大きな手応えを感じたようである。

第3に、日頃の練習成果の発表の場として、より豊かな音楽性を養い質のよい音楽を創造することである。これについても、十分な成果が上がったと考えられる。

また、今後の課題であるが、より多くの地域の方々に参加いただき、子どもからご年配まで様々な年齢層の方々が入れることができる『地域の交流の場』としての役割を担えるように、創意工夫していきたい。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

生徒たちは様々な工夫を凝らし、たいへんよく頑張った。上記の内容を踏まえて、生徒たちが互いにコミュニケーションを深めながらさらに主体的に取組が進むようにしていきたい。